

# UC-1 Engineer's Suite 積算 Ver.3 Upgrade

積算をサポートするソフトウェア。連携、簡単、サポート

WEB認証  
Standard  
¥600,000  
Lite  
¥300,000

フローティング  
Standard  
¥840,000  
Lite  
¥420,000

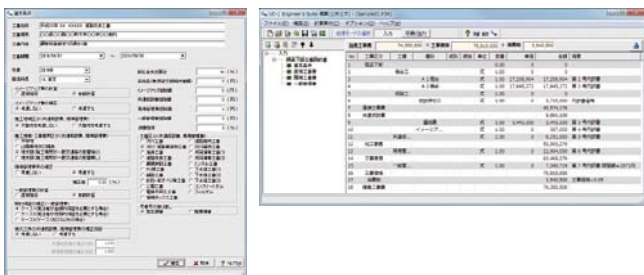
サブスクリプション価格  
1年/フローティング(1年)  
Standard ¥230,000/¥266,000  
Lite ¥184,000/¥212,800

Windows Vista/7/8/10 対応  
電子納品  
体験セミナー

積算に必要な基本的な機能を用意し、弊社独自の機能として連携を意識し、連携・簡単・サポートをコンセプトに製品開発を行いました。

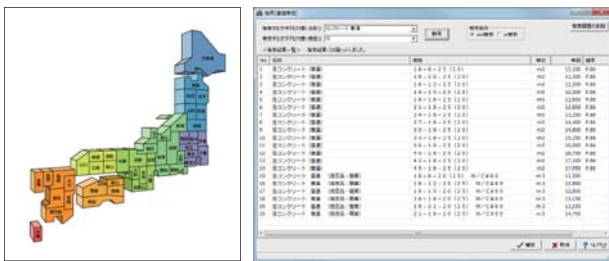
## 【国土交通省土木工事積算基準】

- 請負工事費は、工事価格、消費税、工事原価、一般管理費、直接工事費、間接工事費、共通仮設費、現場管理費で構成
- 各費用は、メイン画面に構成を表示、一目でその内訳がわかる仕組みを用意
- 一般管理費\*、イメージアップ費\*、現場管理費は、基本条件での設定条件を元に内部計算(\*直接指定も可能)
- 単価検索(データベース)から直接工事費に必要な項目(施工単価、基礎単価、施工パッケージ型)を選択、積算本体へ転送を繰り返し、経費を積み上げる流れ



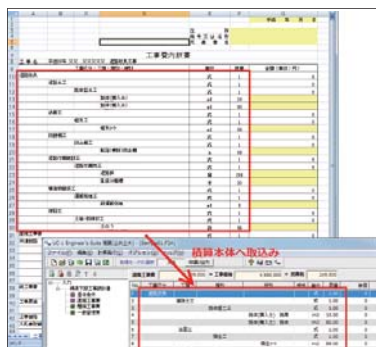
## 【単価検索(データベース)】

- (財)建設物価調査会「月刊 建物物価、季刊 土木コスト情報」、(財)経済調査会「月刊 積算資料、季刊 土木施工単価」に掲載されている単価の平均値・最安値に対応(⇒基礎単価)。
- 施工単価、施工パッケージ型単価も同様の動作で、積算本体へデータ転送可能
- 単価は、年間4回(10月、1月、4月、7月)の更新を予定し、47都道府県(都道府県の主要都市を準備)の単価に対応
- 単価データベース内の検索(AND検索、OR検索)は、単価抽出機能もサポート



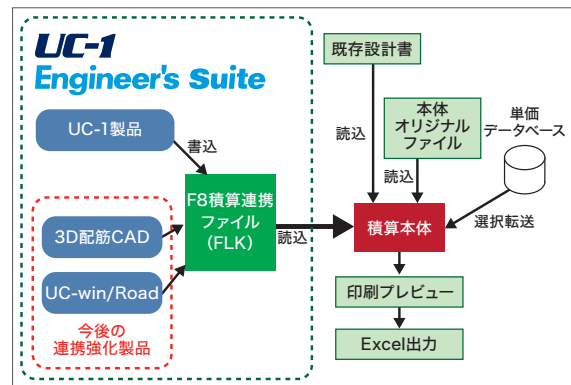
## 【施工パッケージ型単価】

- 土工、共通工、コンクリート工、河川海岸、河川維持、砂防、道路舗装、道路付属施設、道路維持修繕、共同溝、橋梁の工種をサポート
- 標準単価は東京地区での基準年月日の施工単位当たりの単位のため、地域・時期の違いによる補正をし、積算単価を算出
- 標準単価から積算単価への補正は、各施工パッケージの機材材構成比(標準単価に対する機械経費、労務費、材料費、市場単価の金額構成比率)で算出

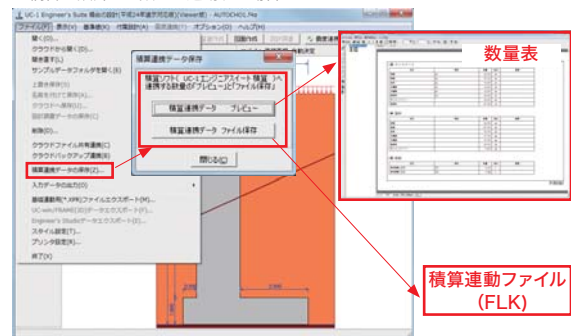


## 【UC-1エンジニアスイート構成製品との連携】

- UC-1エンジニアスイートの設計で用いた材料(コンクリート、鉄筋、型枠など)の諸情報の数量を「UC-1 Engineer's Suite積算」側に取り込み、数量と単価を結びつける事で積算をスムーズに行える仕組みを用意
- 各製品からの数量はプレビューで確認、積算連携ファイル(FLK)を出力も可能



## ▼橋台の設計から数量を連動する場合



## 【設計書の取込み】

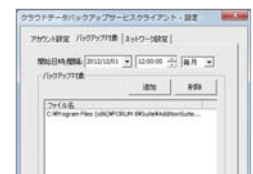
- 「設計書」のフォーマットは各都道府県で様々あり、工事区分、工種、種別、細別、規格の名称を設定し、数量を手入力することになりますが、設計書の取込機能では、上記の入力を全て内部処理を行い、データ(名称や数量)を取込む事ができます。設計書が複雑な書式でも設定を変更する事で、自由に調整ができます。

## 【電子納品対応(エクセル出力、PDF出力)】

- 積算を行った結果をエクセル形式、PDF形式、ワード形式等の媒体に変換

## 【クラウドバックアップ】

- PC常駐プログラムにより、定期的にFORUM8のバックアップサーバにアップロード、自動バックアップを行うことができるサービス
- クラウドバックアップサービスクライアントにより指定されたスケジュールで自動バックアップ



Ver.3 改訂内容

2016年10月11日リリース

1. 国土交通省土木工事積算基準改訂(平成28年度版)に対応
2. 新土木積算体系改訂(平成28年度版)に対応
3. 建設物価調査会(建設物価、土木コスト情報)および経済調査会(積算資料、土木施工単価)の基礎単価2016年10月号に対応